


清水寺平清盛供養塔



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 県指定重要文化財(建造物) |
| 読みかた | せいすいじたいらのきよもりくようとう |
| 所在地 | 吉備中央町湯山 |
| 指定年月日 | 昭和30年7月19日 |
| 解説 | 銘文はないが、様式から見て鎌倉時代後期から南北朝時代の作と推定される。花崗岩製。総高2.6m。塔身正面に大日如来坐像を刻み出している。この供養塔のある清水寺の由緒書によれば、平清盛が大檀那となって伽藍が造営されたといい、この供養塔はその清盛の供養塔と伝えられている。 |
| アクセス方法 | 賀陽ICから車で約10分 |
| 公開状況 | 外観のみ |
| 設備 | 駐車場  |
| 備考 | |